

KITAMURA PHOTO PRESS

お客様とキタムラをつなぐ楽しい写真の情報誌

# 写真友



春・季・号  
平成6年3月1日発行  
季刊第8号  
カメラのキタムラ広報室  
〒222 横浜市港北区新横浜2-4-1  
新横浜WNビル7F ☎045-476-0777

第2回全国「桜」前線フォトコンテスト実施中



あなたの伝えたい春が  
ここにあるんですね。  
だったら、もっとたくさんの  
人に見せてあげましょうよ。

桜を撮る、日本を撮る。

表紙の写真 第1回桜前線フォトコンテスト  
最優秀グランプリ「春景」 瓜坂元一氏作品

# 川口邦雄氏の実践写真講座 撮影者の心構えが 写真に反映

「どんなにきれいな写真でも、感情がこもっていないければつまらない」と、指摘するのは川口邦雄氏。プロが撮ってきれいだっただから「真似してみた写真」では、写真そのものに撮影者の心に何も残らず、思い出にもならない「春」を撮るにも心を込めて撮りたいものです。

春は花が咲き、鳥が鳴き、気候も穏やかな日々が続く、人々も浮き浮きしています。これをただパチリでは、子供の絵日記に過ぎません。この景色をどうしたいのか、自分から春に対してどう感じたいかを考えなくては写真になりません。この気持ちがない春は春に對してだけでなく、すべての撮影がうまいかといえるでしょう。

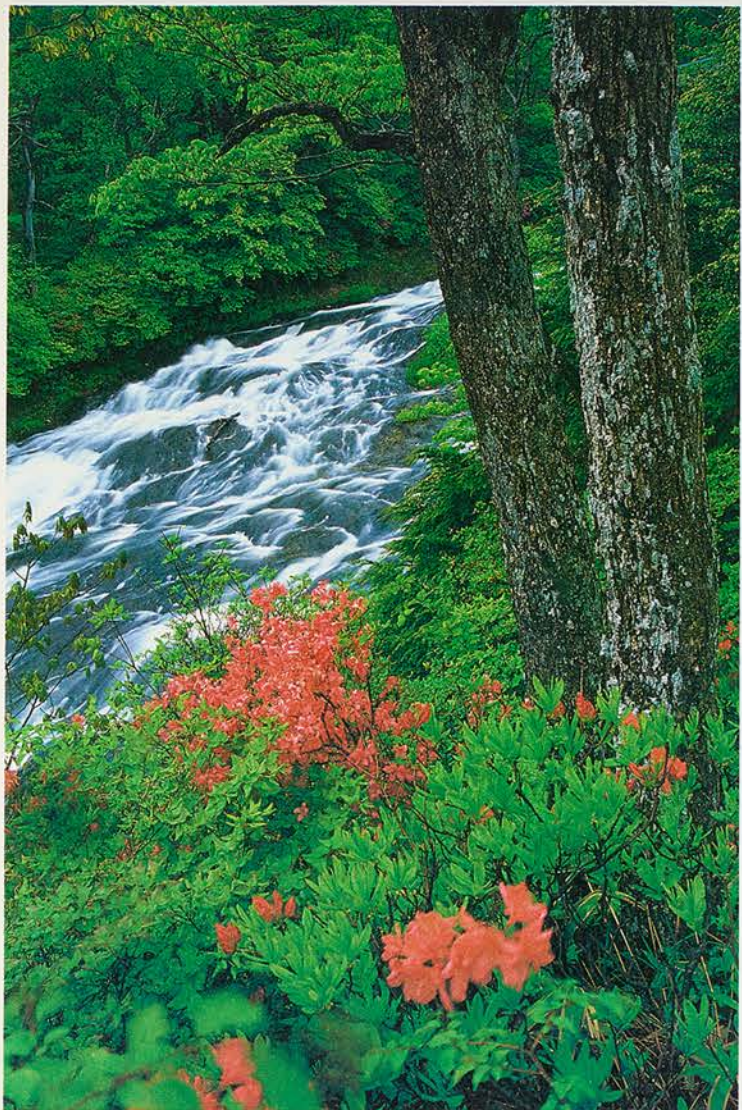
ある有名カメラマンが撮影した場所、同じ条件から「うまく撮れるだろう」は初心者でもそれだけでしょ。しかし、写真としてはそれだけです。撮影者の心が入っていません。春の自然だけを撮影した

のでは、感情がありませんから感銘を与える写真にはならないでしょう。山や花を見て、あなたが感じたこと、心に訴えられたもの、それを写真にしたいです。真似をしただけでは淋しいのではないのでしょうか。

## 下手な鉄砲、数を撃つても当たらない

誰にも「春を見よ」感情が湧きます。人それぞれに春の思い出もあるでしょう。例えば、春霞を見て感動し方が違えば、それを写真に込めれば、立派な写真になります。遠足に行つて「きれいだっただけ」では、子供のお使いでしかありません。草花がきれい、人が浮き浮きしている、これを下手な鉄砲撃ちや当たる方式で、パチパチではいくら撮ってもうまくならないでしょう。どう感じたいかを数多く撮影する、これがうまくなるポイントです。

最近のカメラは性能もアップしており、誰が撮ってもきれいに写るようになっていきます。以前は技術がなければ「写らなかつた」



花を引き立てるために、スローシャッターで川の流れを創り、その花がどんな所に咲いているのか環境説明もしています。花が気持ち良さそうに咲いています。

た「ものですが、今や「カメラは写すもの」になっていきます。現在のカメラは、昔と較べれば、助手が4人いるのと同じです。苦労することなく高度な技術が得られますから、これをいかに、どう使うかだけを考えれば、格段に腕が上がるでしょう。

## フリーズやカメラポジションを変えて撮影

しかし、カメラが何もかも全てやってくれるかと言つて、そうでもありません。やはり機械ですから誤りもあり、錯覚も起こします。それをカバーするのがカメラマンです。つまり、人間が見たそのまゝを忠実に再現してくれません。きれいな花があつて、パチリとワンカットで終わらせるのは素人です。少なくとも半絞り、状況によっては1絞りオーバー、アンダーのそれぞれ撮影することで、3カットくらいあれば、自分の見た明るさの感じが得られるでしょう。

さらに花が見た目にきれいであつても、写真にすると「つまらなかつた」経験は誰でもあるでしょう。その原因は花の角度や光の陰影が、心に感じたまま写真に表現できなかったためです。目にはきれいに見えたのですから、それを写真に再現できるはず。ワンショットで済ませず、フリーストリングやカメラポジションを変えて撮影することで、美しかった花を再現したいものです。

## 撮影の目的によつて画角を変える

写真①② 何を写したいか目的によつて画角を変えます。①はバックの風景が明確に分かり、どこで撮影したのかも判断できます。花の雰囲気を出したいとなると、②になるでしょう。バックがややボケてき



ますが、花の雰囲気と景色が調和していると言えます。同じ絞りであっても被写体に近づけば近づくほど、バックがボケてきます。花だけなら③となりますが、景色はまったく無視されます。

\*絞りでバックを処理  
写真④⑤ マンサウの花です。④はf16まで絞つてあります。アップの写真であってもバックがかなり明確です。f8や5・6ですとボケて景色が分からなくなります。マンサウは可憐であつても⑥までアップにすると、クローズアップに感じます。

写真がうつうつしくなりますので、適時に使用することを勧めたい。

また、スローシャッターですから三脚は必ず使うことです。全体が手ブレした写真では、「コンテストの場合などは問題外とされます」。

\*露出を変えて撮る

写真⑥⑦ 多分割測光のオートで撮影したのが⑥です。周囲が暗いことでそれに測光が引つ張られています。こうした状況では1EV(1絞り分)オーバーで撮つておきたいものです。⑦がそれです。オートと比較して水色葉が生き生きしているように感じませんか。⑧は1EV(1絞り分)アンダー。

その他のオート測光であつても、半絞りアンダーとオーバーは撮つておきたいものです。草花を撮るのに撮影角度は変えても意外と露出値を気にしないケースが多くあるようです。僅かな露光量の変化で色や雰囲気がかなり変化します。自分で写真を選択する時など大いに役立ちます。

\*バックと光で写真がガラッと変わる

写真⑨と⑩(写真はエビネの花) ⑨はバックを黒にして太陽光線が花に当たっています。⑩はバックを青にして、さらに太陽光線を遮光してあります。同じ花でも雰囲気が随分と異なります。

特に草花を撮影する場合、バックを演出することで思わぬ効果が得られることもあります。



活躍中の川口邦雄氏



写真⑧⑨(花はキブシ)はf11、8、5.6の順です。

## スローシャッターで春風や流れを写す

写真⑪⑫ 写真は形のあるものしか写しませんが、シャッタースピードをスローにすることで、風や水の流れを感じさせます。⑪は1/250秒で花の揺れもななく、ピタリと止まった状態であるのに対して、⑫は風がある時にスロー(1/15秒)で撮影し、花が揺れていて、写真を見ていると



風を感じさせます。また⑬(写真は日光竜頭の滝)1秒くらいで、水の流れが写し込まれています。

このスローシャッターもやたらに使うと、



川口 邦雄氏プロフィール

1932年東京都生まれ。山登りはアルピニズムを志向し、積雪期の国内海外の登山を多く経験。1964年写真作家として独立、現在は日本や世界の自然の“聖地巡礼”。各地の素晴らしい自然を取材して、情報メディアに発表・紹介に努める。

日本山岳写真協会理事／自然科学写真協会理事／日本写真家協会理事／日本写真作家協会副会長ほか  
 ■主な著書■「日本の山」「山歩きの楽しみ」講談社、「実戦・山岳写真」東京新聞、「風景・山岳写真の技術」共立出版、「南極」IPCなど多数。



②⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

**スペシャルレッスン**

**その1 人物をわき役にしたら**  
 人物を撮影すると、どうしても主役にしてしまいますが、景色のおき役にすることを考えてみましょう。特に女性は風景の雰囲気を引き出すのにぴったりです。

**その2 マクロの被写界深度表の活用**  
 マクロレンズは被写界深度表を大いに活用したい。本来なら、自分のマクロはどの程度の被写界深度があるか、知っておくべきですが、なかなか難しいようです。深度表を活用すれば、撮影中でもボケがどう出るかある程度予測できます。

**その3 望遠のピンが甘いのは**  
 よく「自分の望遠レンズはピンが甘い」と耳にしますが、三脚を使って正確にピントを合わせるのと、甘いことがほとんどです。また、絞り込んで撮影すると、ピンがよくなる錯覚している人が多いようですが、小型カメラの特に明るいレンズの場合、極端に絞り込むとピンが悪化する傾向にあるようです。この点についてはレンズによって一概に言えませんので、留意して下さい。

**スペシャルレッスン**



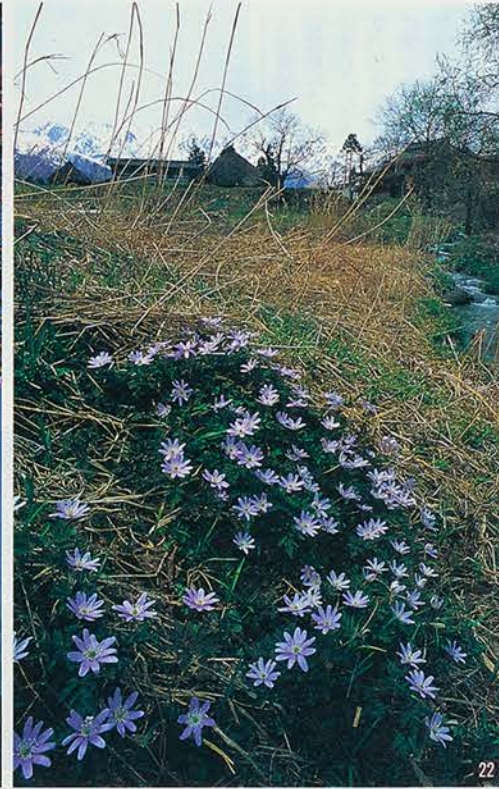
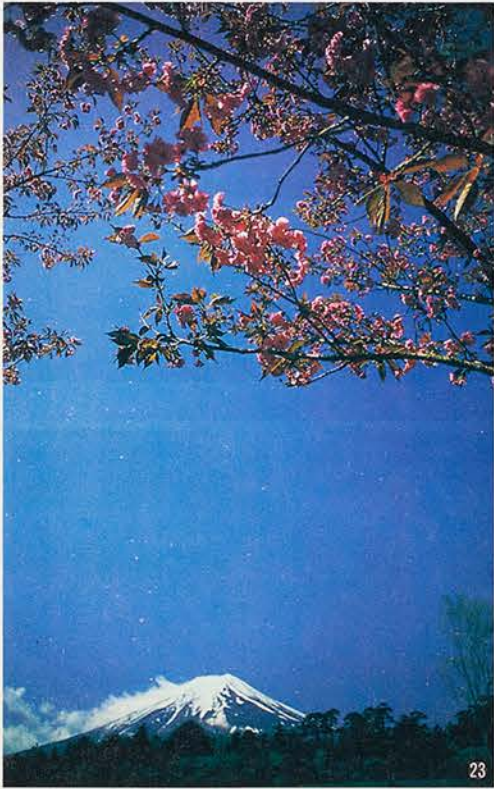
②⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿



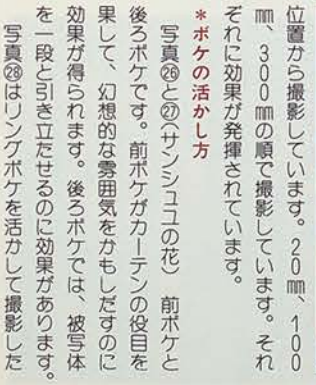
②⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿



②⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿



②⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿



②⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

# カメラのキタムラ、全国で200店舗を突破!!

北海道地区	10店	011-783-1771
東北地区	3店	022-375-1511
関東地区	11店	049-282-1004
信越地区	7店	043-267-7333
北陸地区	10店	076-251-1008
近畿地区	21店	06-644-2626
中国地区	47店	086-233-4552
四国地区	44店	087-222-2222
九州地区	34店	092-733-4004
沖縄地区	1店	098-936-1700

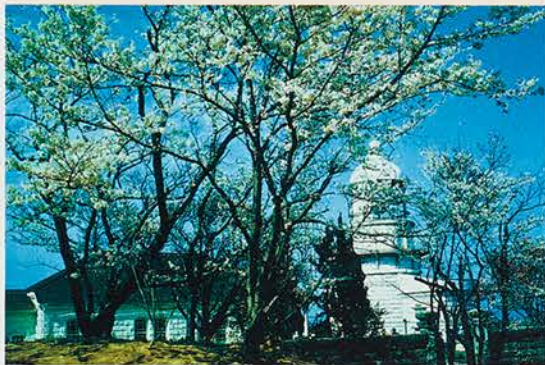


**長崎県 西海橋**  
海面からの高さ43m、日本三大急潮の一つ針尾瀬戸に架けられたアーチ式。桜に加え、ツツジの名所です。リアス式海岸による西海国立公園の豪快な景色と佐世保の異国情緒を味わえます。  
問合せ 佐世保観光協会 ☎0956-24-1111

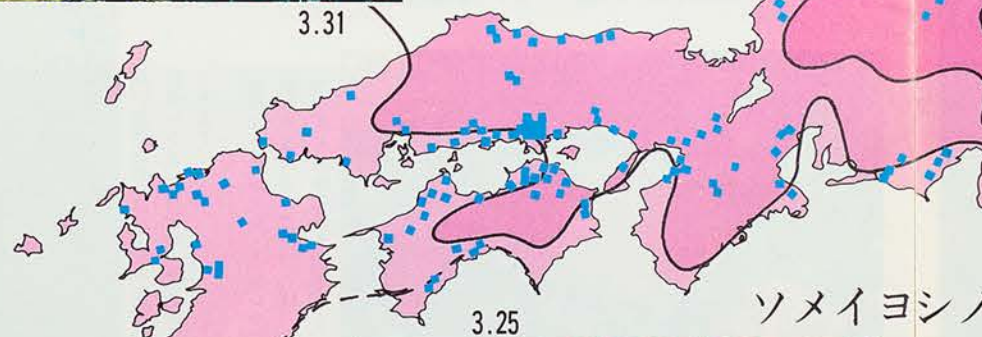


**大分県 岡城址 (竹田市)**  
滝廉太郎の「荒城の月」は少年期を過ごした竹田市のこの岡城址に思いを馳せながら作ったと言われています。岡城址は深い渓谷にある平山城で、西に阿蘇、北に久住の山々が重なり雄大な眺めが素晴らしい。また、いたるところで湧き水があって、その泉を巡る景色が心を和ませます。頭料理、田楽、かぼすようかんがうまい。  
問合せ 竹田市観光協会 ☎0974-63-2638

**島根県 美保関灯台 (美保関町)**  
島根半島の先端に石造りの美保関灯台(フランス人の設計により明治31年完成)があります。海抜73mのここからの眺めは雄大で、晴れた日は隠岐島、大山も望めます。美保神社では毎年4月7日、神話に基づいた大國主命にまつわる「青柴垣神事」もあります。美保神社の本殿は大社造りを2棟並べて表束の間でつないだ地方色豊かな建築です。漁業、開運、商売の守り神。町内に関の五本松、女男(めおと)岩なども点在。海の新鮮な魚介類はいつでも味わえます。  
問合せ 美保関町観光協会 ☎0852-72-2116



**福井県 丸岡城 (丸岡町)**  
柴田勝豊が築城した現存する天守閣では、日本最古を誇っています。またこの近隣は、日本の「桜の名所100選」に認定され、4月上旬は桜祭りも催されます。越前竹人形、織物の町としても名高く人形の里では竹細工の実習もできます。  
問合せ 丸岡町観光協会 ☎0776-66-3000



**高知県 四万十川 (十和村)**  
春の風物詩、このほりの川渡しが四月下旬から五月中旬にかけて行われます。100mの川幅、1つに150匹のこのほりが薫風にまかせて泳ぐ姿は壮観です。  
問合せ 十和村企画調整課 ☎0888-028-5111



# 日本の“桜前線”北上中!!

桜前線が北上し、春が近づいています。そこで桜を中心に撮影場所を探ってみました。全国チェーンのカメラのキタムラでは「桜前線フォトコンテスト」実施中です。奮ってご応募して下さい。

## エゾヤマザクラ

地図にある■の印は、カメラのキタムラがある地域です。



**北海道 松前城 (松前町)**  
松前町は北海道唯一の城下町として栄えた街です。松前公園は桜の園に松前城がそびえ、城を一段と映えさせます。江戸時代の街並みや当時の暮らしを再現した松前藩屋敷など、城下町の情緒が味わえます。  
5月上旬にさくらまつりが行われます。  
問合せ 松前町観光協会 ☎0134-22-2222



**宮城県 益岡公園 (白石市)**  
白石城は仙台城外の唯一の城で、藩内の南の力なめとして軍事上の拠点でしたが、殆ど城としての面影を残していません。僅かに茶室、石垣の一部などが残っています。しかし、白石市やその周辺は、朱塗りの鳥居が二〇〇あまりある万蔵稲荷、片倉家御廟、材木を立てかけたような材木岩、少し足を延ばせば水芭蕉の森もあり、写欲をそそる被写体がいっぱいです。温泉もあります。  
問合せ 白石市観光課 ☎0224-265-2111



**静岡県 本興寺 (湖西市)**  
日本のほぼ中央に位置する浜名湖、その西側に湖西市があります。本興寺の庭は美しいことで知られています。境内の数本の桜が庭園に映えます。  
問合せ 湖西市観光協会 ☎053-576-4542



**茨城県 日立さくらまつり (日立市)**  
日本「さくら」の名所100選の地で、今年のまつりは四月一七日の間で催されます。かみね公園はソメイヨシノなど約1000本が咲き乱れ、夜間の眺めが見事です。平和通りは樹齢四〇〇五〇年のソメイヨシノが桜のトンネルを創ります。桜のライトアップもあります。九日、一日は人形からくり「日立風流物」の繰り出します。仕掛けが「瞬も目が離せない」感動があります。  
問合せ 日立市観光協会 ☎0294-223-1111



# ちょっとした気配りが、グッと写真を楽しくする



自分のカメラでは「つまみ写真は撮れない」と思っています。でも、ここに掲載

した写真は、プロテックニツツや特別な道具を使わずに撮影してあります。写真の上手と下手の差は、ちょっとした気配りである」と言われています。また、持参しているカメラの性能をいっばいに使用しないで、高いカメラでないと、花のクローズアップは撮れない」と思っている方も多そうです。カメラアングルにしても例えば左の写真、木の間に山を入れることで春のいぶきを感じ方がグッと違ってきます。多分、りんこの木だけではつまらない写真になるでしょう。また、子供の視線に注意するだけで写真はグッと楽しくなります。



りんごの木、木の間から遠くに春嶽が望まれます。



高い建造物の前に花をあしらうと、広角レンズでも自然な感じが活きてきます。



春になると、夜の散策も気軽に出掛けられます。そんな時、カメラを持参してはいかがですか。この観覧車の写真は、手すりを使って、露出を20秒にしただけです。それだけで、夜景が生き活きとしてきます。右側の回転灯もグルグル回っていることが写真を見て判断できます。

左の2枚の写真は、一眼レフの標準レンズ(50mm)一本で撮影したものです。精緻な接写を求めているのであれば、このアップ写真でも十分に見られます。華道の生け花も誰でも簡単に撮影できます。



ご存じのパノラマ写真です。ツツジの中でこんな写し方をすると、従来の写真とはイメージが随分違ってきます。1枚の写真で周囲の状況がよく分かり、それによって人物を主役として表現できます。パノラマも広い景色だけでなく、こうした撮り方もおもしろいと思いませんか。

写真に変化をつける方法としては、角度を変えたり、露出を変えたり、シャッタースピードに変化をつけたりと、様々な手法があります。そうした中で、フィルムを替えても写真のイメージが随分と変わります。この3枚は、オートまかせの通常の撮影で、フィルムを替えて変化をつけてみました。こうして見ますと、カラー写真は意外と明るい雰囲気を作るものです。神社のイメージとして、子供とブラリ散歩したい時は①、昔の子供の頃を思い出すと②、と言った感じではないでしょうか。

上の写真はストロボを使用しています。一眼レフ(ズームレンズ35~105mm付き)のオートまかせで、ストロボを使用しただけです。下は窓からの光のみでオート撮影。随分と雰囲気が異なります。ムードを大事にする大人の写真は別に、子供の室内撮影では、いつでもストロボを使った方がいいでしょう。



野道に咲いている花をバチリ。これはカタクリの花。

この写真、難を言えば、ツツジと同じ色の服装。目的地が分かっていたら色を替えたいですネ。



①コニカインプレッサSOS50のカラーフィルムで撮影。



②イルフォードXP2 400フィルムで撮影、カラーベーパーにプリント。



③コニカパン100白黒フィルムで撮影、白黒ベーパーにプリント。



上と下ではどちらが楽しい写真かと、問われれば、当然「上の写真」でしょう。何が違うかと言えば、子供と親の顔の方向です。通常の写真、特に親子の場合、視線の方向がアッチとコッチではつまらない写真になる傾向にあります。人物撮影の場合、この視線が写真の善し悪しを決めると言っても過言ではないでしょう。

# よりきれいで、より高度な撮影が可能

一般的なかめらを大きく分類しますと、35mmフィルム以下を使用するカメラを小型プロペラフィルム(20mmあるいは120、220サイズと称される)を使用するのが中型(中判)カメラ、プロペラより大きいシートフィルム(4×5インチなど)を使用するのが大型カメラと、3種類に分けられます。今号では中型カメラにスポットを当て、主な特長、性能、使いかた、簡単なカメラの選び方などについて述べてみます。

まず、中型カメラを使用するメリットは、フィルムが大きいことで、非常にきれいな写真が得られ、小型カメラとは違った楽しさがあります。このタイプの写真に慣れてしまつて「手放すことができなかった」とするユーザーもかなりいます。

なぜ、写真がきれいになるかといいますと、別表にもある通り、大伸縮プリントにした場合の引き伸ばし倍率がかなり違つてきますから、粒子が細かく当然、きれいな仕上がりとなる訳です。写真展などで全倍でも粒子が荒れていない写真の多くは、プロペラ以上のフィルムで撮影したと考え

この2枚の写真は、マミヤ・オービー提供



この富士山の写真は、35mmしか撮影をしたことがない人が645で撮影したものです。意外とうまいと思いませんか。



あり、スナップや動きのある撮影にも適しています。

③手持ち撮影が可能。これも大型と小型の長所がまじつているメリットでしょう。但し、中型以上は「三脚を常備するのが常識。三脚を使つたら揺れを最少限に防止するため、エレベータを使うのは非常識」とも言われています。手持ちは「撮影が可能」の表現に注意というところでしょうか。

④フィルムバック(ホルダーの呼称も)を自由に交換できる(注:メーカーによってシステムが異なります)。

カラーをモノクロでとか、感度の違うフィルムで撮りたいといった時、直ぐに対応できます。また35mmフィルム用バックやインスタント写真用バックもあつて、テスト撮影してから本番とか、その時々によって使い分けできます。

さらにあるプロカメラマンによりまして「一眼レフでは撮影が下手だった人が、中型を使い出してから急にうまくなつたケースがかなりあります。これは一眼の時、数撃せば当たる方式で、何も考えずにシャッターを切りまくつていたのが、中型を使い出して撮影が慎重になり、あれこれ考えるようになつて、言うなれば、被写体を見る眼が養われ、撮影に対して開眼したからでしょう」と、いった指摘もあります。

ところで、中型カメラの中で645タイプ(6×9cmフィルム)の半分サイズ6×4.5cmでセミ判と呼ばれています。もあります。フィルム面積は35mmの約3倍で、一眼レフでは物足りないが、中型カメラはどれも思つているカメラマンの方にはピッタリと言えるでしょう。また中型カメラの入門機としても最適です。

機種によってフィルムバックがないカメラもありますが、通常の中型カメラと殆ど同じ機能を用意しながら、120フィルムで15枚(6×9では7枚)、220フィルムで30枚撮影でき、シャッターを多く切る人にとっては経済的にも得なタイプと言えます。それらしく、描写力が35mmと比較して格段に素晴らしいと感じます。操作性は一眼レフと殆ど同じで、一眼から違和感なくスムーズに移行できる特長があります。

645に限らず中型カメラと一眼レフとの相違点を挙げてみます。

①フィルムがパトローネに入つていないため、装填時には35mmとは異なつた注意が必要で、撮り終わった後、巻き戻しはできません。

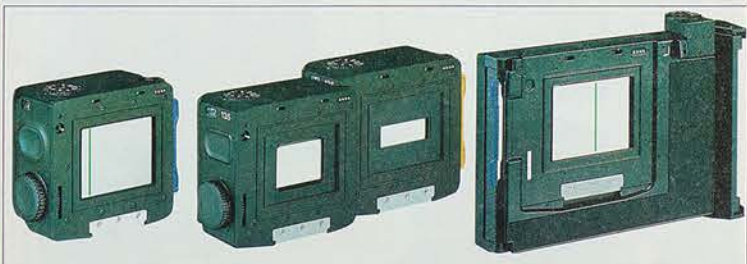
②一眼レフとはファインダーの視野に異なつた感覚があるため、当初、戸惑つることがあります。

③一眼レフに比べ、被写界深度が浅い傾向にあることから、ピントはより正確に合わせなければなりません。

④一眼レフに比べ、どちらかというところ絞込みが強い。

⑤機構上、一眼のような1/2000秒といった超高速シャッターはありません。以上のように中型カメラにはメリット、デメリットがありますが、自分は撮影の重点をどこに置くか、まず決めてから選ぶことが望ましいでしょう。

## 一眼レフとの相違点



Mamiya645PROのフィルムバックシステム  
120、220用ロールフィルムホルダー、135用フィルムホルダー(パノラマアダプター付き)、ボラロイドバックフィルムホルダー

## フィルムサイズ比較

フィルム名	サイズ(mm)	縦横比	対35mm	対4切
35mm ライカ判	24×36=864	1.5	1倍	89.6倍
6×4.5(cm)セミ判	45×60=2700	1.33	3.12倍	28.6倍
6×6"ロクロク	60×60=3600	1.0	4.16倍	21.5倍
6×7"ロクナナ	60×70=4200	1.16	4.86倍	18.4倍
6×9"ロクキュウ	60×90=5400	1.5	6.25倍	14.3倍

注)対35mmとは35mmとの面積比較。対4切(プリント)とはフィルムに対しての面積比較。4切面積は254×305=77470mm<sup>2</sup>で計算。

## 第2回全国桜前線フォトコンテスト作品募集



【テーマ】桜をメインとした風景および桜と人を被写体とした人物

★最優秀ランプリ(1名) 賞金三〇万円と楯

★最優秀賞(5名) 賞金二〇万円と楯

★優秀賞(10名) 賞金一〇万円と楯

★インプレス賞(10名) 賞金二万円と楯 副賞ビッグミニNEO

★佳作(150名) 記念品と楯

【応募資格】カラープリント4切(ワイド4切・4PWを含む)に限定します。他のコンテストに応募した作品または応募予定の作品はご容赦下さい。

【応募作品のペーパー及び使用フィルムのメーカーは問いません。】

【応募方法】応募用紙に必要事項を記入の上、作品の裏面にセロテープにて貼付し、ご応募下さい。ノリ付けはプリントが波を打つて曲がってしまう恐れがありますのでご遠慮下さい。

\*応募用紙は自作でも構いません。お一人様何点でもご応募いただけます。

【作品返却】応募された作品は審査終了後、カメラのキタムラ店頭で返却いたします。(7月末までに返却の予定)

\*但し、入選作品の返却はいたしませんのでご了承下さい。

【入選作品の版權】入選作品は「第2回全国桜前線フォトコンテスト」事務局に帰属させていただきます。なお、入選作品のネガまたはスライドの原稿は回収させていただきます。

【応募・問合せ先】(株)キタムラ内(第2回全国桜前線フォトコンテスト)事務局 〒222横浜港北区新横浜2-14-11 新横浜WNビル7F ☎045-476-1077

【募集期間】平成6年3月20日～6月5日(日)事務局必着

【お詫び】読者の方より「初冬好スポット」の中で二見ヶ浦が選ばれていましたが、夫婦岩の間から日が昇るのは夏至の頃で、冬の間(冬至の頃)は宇治橋のところに日が見られるのです」とご指摘を戴きました。ありがとうございました。今後は注意して記事に致します。

## 静岡の巻

- 【カメラのキタムラ】静岡の店
- 焼津/パイパス店 〒425 焼津市八幡1140-1 ☎0546-29-2337
  - 清水/草薙店 〒424 清水市中ノ郷1-11-1 ☎054-347-6880
  - 静岡/千代田店 〒420 静岡市千代田7-9-32 ☎054-263-2618
  - 浜松/イトヨーカドー店 〒430 浜松市鏡治町1-2 ☎053-454-7911
  - 浜松/柳通り店 〒430 浜松市神立町138-1 ☎053-465-3151
  - 浜松/鶴江店 〒432 浜松市鶴江3-70-16 ☎053-458-6662



東伊豆町 ライオン岩 東伊豆、海岸は素晴らしい景観に加え、亀族館やワニ園なども……。



三島市 妙法草寺 写真は百間場、人里離れた箱根山麓にあって、撮影、散策に適している。



藤枝市 水車村 新緑の映える場所で、昔ながらの水車、吊り橋が復元され、子供にも安全なせせらぎがある。



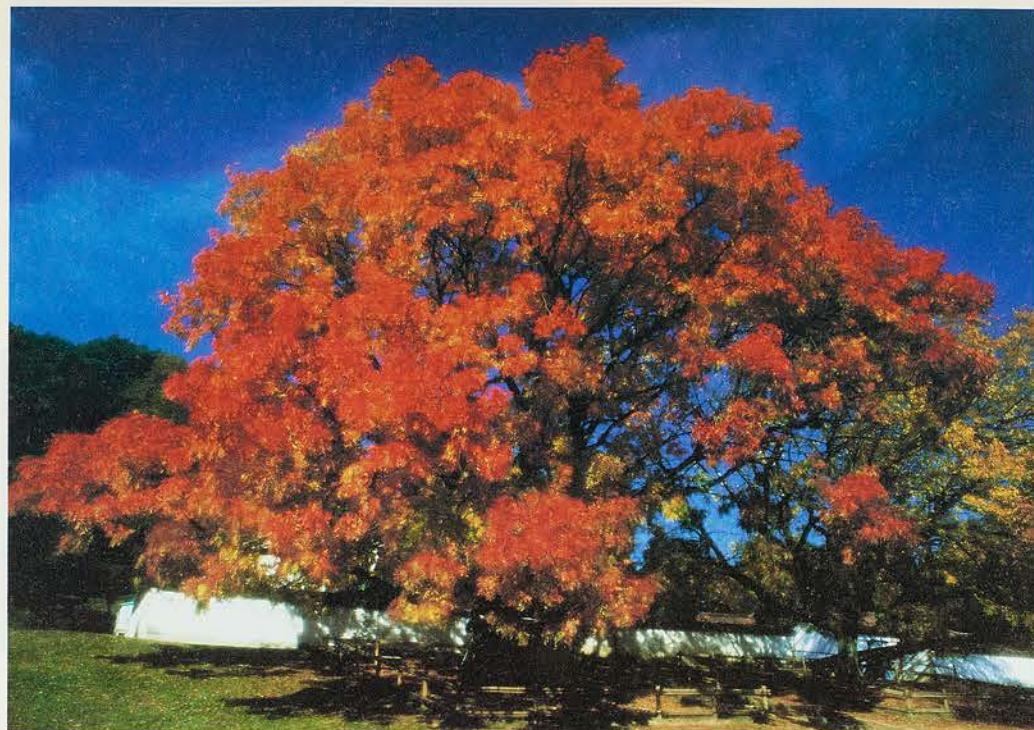
三島市 山中城跡 新緑の中でツツジがきれいな所。眼下に駿河湾が広がり、富士の景観も素晴らしい。



浜松市鏡治町 大國屋 鰻の美味しい店です。地元の味はまた格段です。是非、ご賞味を。



川奈 伊勢海老の味噌汁 伊豆には美味しいものが盛り沢山ですが、この味は忘れられません。(於ける 海女の小屋)



## 第2回 全国紅葉前線 フォトコン 優秀作品展

第2回目を迎えた全国紅葉前線フォトコンテスト(平成5年秋期応募)は、今回も多数の「秋」が集まり、9000点を越える応募がありました。見事、グラブリに入選したお2人の写真を紹介します。



### 〈かいの木〉松田定義氏(岡山県岡山市) 風景部門グランプリ

評: かいの木(竹内敏信氏) 青空の鮮やかさと白壁の美しさが極めて象徴的にとらえられていて、正に日本の紅葉の美しさを感じさせる作品です。見た目の強烈な印象は、紅葉の中でも傑作といえる作品です。  
データ=ニコンF-801 ニッコール24mmF2 絞りf16 シャッターオート

松田定義氏と林店長(東岡山店)対談

林店長 こんなに素晴らしい紅葉があるとは知りませんでした。撮影ポイントと特に気をつけたことは…  
松田氏 かいの木と青空の色調を出すこと、そのために露出補正をマイナス1で撮影しました。また、葉の躍動感を撮るためにPLフィルターを使用して、スローシャッターを使いました。かいの木は、右側が金色、左側が黄金色に発色するのが特長ですが、左側はすでに紅葉が済み半分ほど散っていました。そんな中で、金色と/バックの白壁をまとめるのに苦労しましたネ。

林店長 写歴はどのくらいですか。いつもどのように写真を撮っているのですか?

松田氏 5年ぐらいです。撮影は景色なら被写体を決めて、条件が揃うまで何回も通います。納得のいく写真が撮れたら終わり、と言ったパターンです。

### 〈雨 滴〉田中義文氏(福岡県太宰府市) 人物部門グランプリ

評: 雨 滴(丹地敏明氏) タイトル通りの雰囲気があり、雨の中でこれだけシャープに撮れたことを評価しました。モラルの表情と傘の距離感をうまく表現して、傘についた水滴が秋雨を象徴しています。迫力のある真正面からの雨滴と顔のコントラストがムードを創りあげ、感動が伝わる作品になりました。

データ=ミノルタXD ミノルタMD85mmF2 絞りf11 シャッター1/30

田中義文氏と横山店長(太宰府店)対談

横山店長 思いどおりに撮れましたか。

田中氏 人物のアップ写真で紅葉のイメージをどのように出すか、もみじをポイントにおきました。雨降りではシャッターをあげられないので、特に手ぶれさせないように注意しました。絞り込みながら雨滴と人物の両方にピントを合わせるようにしました。構図では、傘の骨の位置が中途半端にならないよう注意したことです。ピント、雨滴、傘の位置とだいたい思いどおりでした。

横山店長 今後はどんな写真を撮っていくつもりですか?

田中氏 被写体を見て、自分が感じた事、そのまま写真に現せるような撮り方をしていきたいです。撮影することが好きなので、特に「これッ」といって決まった被写体はありません。どんなものでもフィーリングを大切にしています。写歴は15年ぐらいです。

